

1月12日

恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、わたしがあなたとともにいるのだから。わたしに従う者たちは、この世の大半を代表する意見から、声高に反論されると、簡単に恐れたり悲観的になってしまったりする。この世での人生を神不在の偏ったレンズを通して見るなら、もちろんがっかりさせられ、弱らせられるだろう。このような有毒な情報に対する解毒剤は、キリストにある勇気だ。この勇気は、いつでもわたしがあなたとともにあるという、その知識によって力を得る。

現実の中であなたの目に見えるものは、実は、その現実全体の中のたった一部分にすぎないことを忘れずにいることが肝要だ。エリヤはひどく落胆したとき、主に忠実であり続けている者について、ただ私だけが残り残りましたと言った。しかし、イスラエルにはまだ、七千人ものバアルに膝を屈めていない者たちがいた。エリヤは自分ひとりしかいないことや彼自身の落胆によって目をくらまされていた。同様に、エリシャのしもべも、エリシャには見えていた、自分たちを敵軍

から守るために取り巻いている火の馬と戦車が見えずにいたため、恐怖に打たれてしまった。

愛する者よ。わたしは、ただあなたとともにいるだけではなく、わたしはあなたを助けるための無限の力と備えがあるのだ。だから、目に映っているものに捉われてはいけない。しっかりしなさい。わたした。恐れることはない。

+:~+

【新改訳 2017】

ヨシュア記 1:9

わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、【主】があなたとともにおられるのだから。」

I 列王記 19:14

エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に熱心に仕えました。しかし、イスラエルの子らはあなたとの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうと狙

っています。」

Ⅱ 列王記 6:17

そして、エリシャは祈って【主】に願った。「どうか、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」【主】がその若者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

マタイ 14:27

イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」と言われた。